

Fリーグ 感染予防対策ガイドライン

令和 2 年 5 月 30日現在

Fリーグ事務局

1. はじめに

北海道における自粛解除に伴い、感染予防対策に配慮しながらFリーグを6月より活動開始いたします。

なお、本ガイドラインは、JSBBのガイドラインを参考に、現段階で得られている知見等に基づき作成しています。今後の北海道及び札幌市の感染状況を踏まえて、見直すことがあります。

各チームにおいてこのガイドラインを徹底し試合に臨んでください。各チームにおいてFリーグガイドラインに対して色々な見解や意見があるとは思いますが、何なりと事務局まで意見要望を申し付けください。

順次改善項目は事務局より発信いたします、各チームの監督もしくは代表が最高責任者として管理、統率をお願いします。

2. 球場集合と試合開始に関して

- ①各チーム20人程度を上限として、それ以上の人が集まらないように、参加チームは配慮すること。
- ②試合当日、参加者全員の健康状態を監督が管理し、結果を相手チームに報告すること。
- ③試合会場には、消毒液などを各チーム単位で持参し入場前に除菌すること。
- ④登録選手、もしくはその家族に感染が判明した場合には、過去2週間以内に対戦したチーム及び事務局に報告すること。
- ⑤オーダー交換時には、各々マスクを着用して行うこと。
- ⑥試合開始の整列は監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省くこととする。またその際にはマスク着用と握手禁止とする。
- ⑦球場集合時には先に試合をしていたチームが球場外に退場した後に入場し交錯、密を避けること。

3. 感染予防対策

感染拡大防止のために試合参加者が遵守すべき事項を明示しますので、監督（最高責任者）はチーム内で徹底してください。

参加者の安全を確保する等の観点から、各チームの監督が責任を持ち指導及び統率すると共に、対戦チーム間で相互チェックを心掛けること。

(1) チーム内遵守事項

- ①選手は自粛期間明け早々のため、リーグ開催中は健康管理を心がけること。
- ②発熱、咳、倦怠感などの風邪症状および味覚嗅覚を感じない者の参加を認めない。
- ③14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。
- ④過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ⑤手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットの励行。
- ⑥屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ⑦感染者が発生した場合には、すみやかにチーム責任者及び事務局へ報告する。
また2週間以内に感染者が参加し対戦したチームへも報告すること。
- ⑧万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮すること。
- ⑨このコロナ禍において、試合内容や動画、写真をSNSにアップすることを極力さける。

(2) 参加者の対応

- ①参加者は検温を実施し会場に来ること。(37.5度以上ある場合は欠席すること)
※球場集合時にチームで用意した体温計にて検温することが望ましい
- ②ゴミは各自持ち帰ること。
- ③応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を保って観戦する。
- ④試合参加に関しては家族の同意を得ること。

(3) 試合開始以降の対応

- ①ベンチ内にいるときは全員がマスクを着用すること。
(プレーの際のマスク着用は個々の判断に任せるが、安全確保に努めること)
- ②人との距離を2メートル確保し、ベンチ内では一定間隔を保つよう努力すること。
(ソーシャルディスタンスを保つためにベンチに入れない選手が居ても可とする。)
- ③練習および試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは控える。
- ④肌が触れ合うハイタッチなどは行わず、各々コミュニケーション方法を模索すること。
- ⑤攻守交代は守っていた選手がフェアグラウンドから退場した後に入場することとし、交錯、密を避けること。
- ⑥審判、コーチャーはマスク着用すること。
- ⑦チームで用意した消毒液にてマスク、野球道具の消毒を逐次実施すること。

4. その他

- ①チーム内で感染者が発生した場合、感染者の所属チームは一時的にリーグ参加を中断

する。また感染者が参加した2週間以内に対戦したチームもリーグ参加を一時的に中断する。（中断期間は事務局で状況判断し決定し通知します。）

②チームの諸事情によりリーグ参加が困難と判断した場合は、速やかに事務局へ報告のこと。（何らかの救済措置、運営規約の変更を検討是正します。）

情報はHP及びグループlineにて逐次発信して参りますので定期的にHPをチェックしてください。

このコロナ禍において、安心安全に楽しく野球をプレーすべく事務局が一丸となり環境造りを行って参りますので、みなさまも協力お願いいたします。

以上

Fリーグ 感染予防対策ガイドライン 補足

令和3年8月18日現在
Fリーグ事務局

1. はじめに

現在、北海道ではコロナ感染者数が増加する一途、札幌市はまん延防止重点措置の中でも感染者数は増加傾向にあります。

そんな中、Fリーグでは感染予防対策ガイドラインを遵守し活動を進めておりますが、改めてチーム内で徹底して頂きたい事項がありますので、通知いたします。

2. ガイドライン補足事項

感染予防対策のチーム内遵守事項を踏襲した上で、下記の点の徹底をお願いします。

①海外、緊急事態宣言及びまん延防止重点措置の発令されている地域への移動がある選手は、チーム代表者への報告を徹底する。

②上記①発生後、数日間の経過観察、必要に応じて検査を実施させることを代表者に一任する。

③家族に濃厚接触者が発生した際のチーム代表者への速やかな報告の徹底。

④札幌市もまん延防止重点措置地域であり、札幌市近郊地域での練習や試合に関しては注意を払う。

上記徹底事項の事務局管理は致しませんが、報告等のルールはチーム内で決定してください、また代表者が危機感を持ちチームの管理を徹底してください。

改めてリーグに感染予防対策ガイドラインの熟読をお願いいたします。

不明点や確認事項は事務局まで連絡をお願いします。

リーグも大詰めです、クライマックスシリーズやチャンピオンズゲームに向け安心安全な試合進行に協力をお願いいたします。

公的機関ではありませんが、下記でPCR検査が出来ます。

東亜産業PCR検査

<https://toa-pcr.com/>

以上